

「電気工事業工業組合青年部会との交流会開催」

電気システム科 1年

学院は、電気工事業の発展・振興及び若年技術者の育成を目的として、平成26年に電気工事業工業組合と「事業連携協定」を締結した。この協定に基づいた交流事業「次世代を担う学生との意見交流会」を7月8日(金)に実施した。テーマを「育もう若い力 照らそう未来のあかり」として、電気工事業の仕事内容を紹介するDVD上映、参加の10企業が分担して設計、資格、営業など様々な分野の内容を紹介するプレゼンテーションがあった。企業の代表者には学院のOBも数名おり、電気配線工事以外にも通信設備工事や関連する営業など多岐にわたる内容があり、常に新しい取り組みもあり、大変やりがいがある仕事内容であることが紹介された。学院生に対しては事前アンケートが取られており、集約結果の講評も行われた。また、質疑応答で多くの学生が質問をするなど1年生にとっては大変有意義な交流会となった。



“安全は 急がず 焦らず 怠らず”

R4 全国安全週間スローガン

7月1日から7日までが「全国安全週間」である。学院でも社会人同様に労働安全や安全衛生に関する意識をたかめるために全学院生を対象に「労働安全標語」を募集している。今年も多数の応募があり、その中から優秀な12作品の標語を選定した。この優秀作品は7月から2作品ずつ実習場や教室・管理棟内に掲示し、訓練や作業の安全を喚起する。また、7月1日(金)に、安全衛生および交通安全講話を実施し、交通事故や作業の安全について意識を高めた。

最優秀賞「うわの空 確認不足が 招く事故」……………電気システム科2年 小池健斗さんの作品

優秀賞 「怪我のもと 過信と慣れの その先に」
「何か変? 気づくゆとりで 築く安全」
「気を抜かず 安全確認 よしよしよし!」
「作業前 安全点検 自己点検」
「報・連・相 一つ欠けると 命取り」
「気のゆるみ よかろうもんが けがのもと」
「無災害 一人ひとりの 心がけ」
「毎日の 安全確認 もう一度」
「声に出し 指差確認 今日もヨシ!」
「忘れるな 指差し声出し 安全よし」
「確かめた? 確認ひとつ 事故防止」



安全衛生講話

「SAGA サンライズパーク見学会」

電気システム科 1・2年、職員

SAGA2024 国スポの主会場となるサンライズパークでは、大規模な多目的アリーナ「SAGA アリーナ」の建設工事が進んでいる。この工事の電気設備の工事を請け負う岡田電機・脇山電気工事建設共同事業体(JV)が学院生を招いて見学会を開催した。電気システム科の1年・2年31人と職員が参加し、仕事内容などを学んだ。

見学会では工事の受注から竣工までの流れを、文化会館側と陸上競技場側をつなぐ歩行者専用通路「ペDESTリアンデッキ」内の電気工事を中心に見学し、その後アリーナ内の電気室や天井ディスプレイなど、普段は立ち入ることのできない現場を見て回った。学院生も大掛かりな工事をみて活発な数々の質問をしていた。電気工事の現場に触れ、後継者確保につなげる目的で同JVが企画した。

学院生も「教科書で学ぶような場面を実際に見て、良い勉強になった」と話していた。



「在職者訓練 “DX 基礎” 開催」

学院では、求職者に対する施設内訓練、委託訓練のほか、すでに企業で働く在職者のスキルアップの目的で行う「在職者訓練」も実施している。この在職者訓練には企業の要望に沿った内容の「オーダーメイド訓練」と学院があらかじめ訓練の内容を設定した「レディメイド訓練」の二つの形がある。今年度からこのレディメイド訓練に「DX 基礎」及び「2 級自動車整備士受験対策」の 2 コースを追加し 8 コースを実施する。

令和 4 年度の在職者訓練は「業務のデジタル化 (DX) を推進し企業の生産性向上や働き方改革を応援する」内容の訓練も実施することとしている。

今回初めて実施した「DX 基礎」は、DX とは何なのか、DX はどのようなことに利用できるのかなどを探り出す基礎的な研修で、製造業、建設業、サービス業など幅広い業種の企業から 18 名の参加があった。

クラウドサービスを利用した業務の効率化などを支援する福岡市の業者を講師に招いて、7 月 21 日、28 日の 2 日間の日程で実施する。



【8月の主な行事】

委託訓練入校式：3 委託訓練修了式：1 委託訓練選考試験：3 在職者訓練開校式：1

- ・ 8/3 (水) ……………職員研修
- ・ 8/4 (木)、/5 (金) ……………オープンキャンパス (体験型)
- ・ 8/20 (土)、/21 (日) ……………ものスゴフェスタ (サンライズパーク総合体育館)
- ・ 8/22 (月) ……………二学期始業式 (7/30~8/21 : 夏季休業)



人づくり ものづくり 未来づくり
佐賀県立 産業技術学院

OPEN CAMPUS 2022

01 | 見学コース

5つの科を全て見学できます

9:30~11:30 (受付 9:00~)

02 | 体験コース

興味のある分野を選んで体験できます

13:00~16:00 (受付 12:30~)

学科	体験内容	定員
産業技術・設計科	かわいらしい遠征用の機体模型製作	10名/日
保健技術科	シンプルスタイルリッシュ アイアンワック製作	5名/日
自動車工学科	夏までおくと便利な 自動車車の点検	8名/日
電気システム科	おうちで重宝 テーブルタップ製作 / 身近な家電も自動化！ オートスタートシステム製作	10名/日
木工デザイン科	こんなお部屋にしたい インテリアデザイン体験 / スマースタンドスピーカー製作	10名/日

両方のコースでも、どちらか片方でもOK!

学生、保護者、入校を検討中の方、どなたでもお気軽にご参加ください



入校生募集

募集要項・入学願書は、佐賀県産業技術学院、各ハローワーク窓口にあります。

●募集日程 / 令和4年10月3日 (月) ~ 令和4年10月14日 (金)

●選考試験日 / 令和4年10月21日 (金)

●合格発表日 / 令和4年10月31日 (月)

●募集要項

- ・ 18歳から34歳までの方 (年齢制限は、令和5年3月31日)
- ・ 但し、自動車工学科は、高等学校卒業生 (令和5年3月卒業見込み者を含む) 又は、高等学校卒業程度認定試験合格者 (大学受験資格を有する者を含む)

佐賀県立 産業技術学院

〒894-0011 佐賀県多良木町久保 1182-1
TEL: 0952-74-4326 FAX: 0952-73-9913
mail: syougou@stigit.ac.jp / stigit.ac.jp

Instagram



Facebook



Twitter



学院 HP



＜編集後記：学院長＞

若年者ものづくり全国大会 (広島県、愛知県) へ 4 名が出演します。壮行式を 7 月 20 日 (水) に実施しました。出場者は力強く決意表明しました。活躍を期待しています。

7 月 28 日 (木) の STS「かちかちプレス」で学院が紹介されます。是非ご覧ください。